

# すべてをかなえるフルオーダー

マイスデル

広々としたLDKでひときわ目を引くのは、ステンレス一枚板でできた天板とブラックステンレス。

スタイリッシュなデザインが際立つが、

使い手の思いをかなえた仕掛けがたっぷり詰め込まれている。

タニコーの家庭用フルオーダーキッチン「MEISDEL(マイスデル)」は、

ステンレスの美しさ、機能が存分に生かされたキッチンだ。

Photo Satoru Seki Text Mayumi Sakamoto



水栓はハンドル式を採用。食器用洗剤とハンドソープも取り付けた。



天板に施した小さな水切りは、ご主人が使うコップなどを収納。



ステンレス一枚板の天板を載せたアイランドキッチン。面材のブラックステンレスとも美しく調和する。

生涯で3軒目となる家を建てると決めた時、最初に着手したのはキッチンを決めることだったという夫妻。ただ、希望のキッチンがなかなか見つからなかったという。ステンレス一枚板で幅3400ミリの天板があるアイランドキッチン希望していたが、それをかなえてくれたキッチンメーカーは、タニコーだけだった。

「不動産業を営んでいるので、飲食店にタニコーさんのキッチンが入っているのは知っていました。インテリア雑誌でマイスデルの広告を見つけたら、業務用のイメージとは全く異なるキッチンが載っていたのです」と奥様はいう。そこから、タニコーのショールームを訪れ、ブラックステンレスをご主人が気に入る、即決。公式サイトから申し込みをして、直接やり取りをしたという。

業務用厨房機器のリーディングカンパニーであるタニコーは、1946年の創業以来、独自のステンレス技術で優れた製品を生み出してきた。その経験と実績から家庭用キッチンシリーズも展開。フルオーダーキッチンブランド「MEISDEL(マイスデル)」の登場により、さらなる高みを目指している。

「幅3400ミリの天板とブラックステンレスを面材にしたキッチンを入れることだけが決まっていた、しかも、重量木骨でひとつながりのLDKが欲しいという要望もあり、施工してくれる会社を探すのはなかなか大変でした。地元の工務店に、タニコーのキッチンを入れるプランをお願いできたのはラッキーだったと思います。」

キッチンの美しさが映える、壁の色や天井の高さも実現することができました。

生涯暮らすことを考えた家づくりでもあったため、料理が好きで毎日キッチンに立つ奥様がこだわったのは、年をとっても使いやすい「かまがないキッチン」。アイランドキッチンの高さやシンクの深さはすべて奥様仕様になっている。アイランドキッチンにビルトインした食洗機も大きな皿が入る深型のものを選び、一度に洗える量も増やした。

シンクは、大きな魚でもさばきやすい幅と深さ。水栓の隣に、ハンドソープや食器用洗剤のディスプレイを取り付け、カラーは黒で統一している。スポンジもシンクの中に専用の置き場所を作り、天板は常にすっきりと片付いた状態だ。二人で立つても十分すぎる幅を確保した。

アイランドキッチンには、ツールを置くスペースを作り、簡単な食事ならキッチンで済ませることができる。ユニークなのは、天板の上に水切りのある小さなスペースを設けたこと。ご主人が普段使うグラスが、簡単に取り出せるようになっていた。

「何もないところからスタートして、ここまで満足のいくキッチンができたのは、営業の方のおかげでもあります」と奥様。細かな要望に応え、提案することができる技術力とホスピタリティーはタニコーの真骨頂でもある。何一つ我慢することがなかったというフルオーダーキッチン。セカンドステージにふさわしい、上質さと機能美を併せ持っている。